

## 2 循環型社会の推進

### (1) 岐阜市分別収集計画

容器包装リサイクル法の施行に伴い、容器包装廃棄物の分別収集を実施するにあたって5年を一期とする岐阜市分別収集計画(平成9年4月始期)を策定し、3年ごとに見直しを行うこととしています。

現在の計画は、令和2年4月を始期として令和6年度末までの5年間を計画期間としています(令和元年7月に改定しました)。

容器包装リサイクル法に関する10品目の容器包装廃棄物のうち、プラスチック製容器包装以外(ペットボトルのキャップ、柳津地域での行政収集を除く)の9品目については、ビン・ペットボトル、カンの行政収集及び自治会や市民団体が実施する集団回収による収集体制が整っています。

ペットボトルは、平成30年度は指定法人である(財)日本容器包装リサイクル協会のルートにより1,181t(出荷重量)が再資源化されました。

白色トレイについては、現行のトレイ回収協力店による拠点回収体制の拡充に加え、平成16年10月から市による定期収集(発泡スチロールを含む)を開始しました。

### (2) 環境推進員

環境推進員設置要綱(平成9年制定)により、50自治会連合会毎に3~4人(計181人)の「環境推進員」を2年の任期で委嘱し、地域におけるごみ減量や資源リサイクル活動の推進など行政と地域住民とのパイプ役としての活動をお願いしています。

### (3) 資源分別回収

従来から市民運動として行なわれていた紙・繊維・金属など、再生できる資源の集団回収を全市域で実施するため、昭和58年度から「資源分別回収事業」として奨励制度を発足させました。

この事業は、自治会連合会を単位に原則として月1回、自治会・女性の会・PTA・子ども会・老人クラブなどの実施団体が回収を行うもので、回収品目は「紙類」・「古着」・「カン・フライパン類」・「生きビン類」・「雑ビン類」の5種類です。

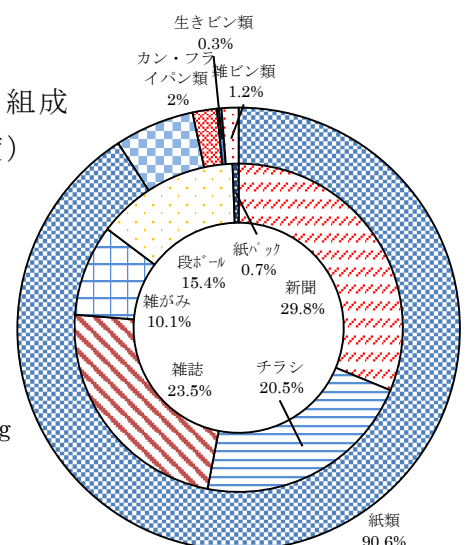
平成26年度からは、自治会連合会に対し均等割額3万円と、実績割額として回収重量1kgにつき6円、雑がみは回収重量1kgにつき8円を支払っています。

また、平成24年度から自治会連合会と協力して「古紙回収用ボックス」を順次設置しています。設置した自治会連合会に対し奨励金を交付しており、平成29年度からは設置区分に応じた活動割額として1か所月額2,500円、2か所月額3,800円を支払っています。

このほか、集積場所の品目板及び実施チラシなどの物品助成も行なっています。☆令和元年度は、市内全50地区において956回実施され、回収量は6,069tでした。

資源回収品目組成  
(令和元年度)

総回収量:  
6,068,863 kg



## ■令和元年度実施団体別回収内訳

実施団体	自治会	PTA	婦人会・	子ども会	各種団体	その他	合計	
			女性の会					
回数	648	100	15	74	52	67	956	
紙類 (kg)	新聞	874,430	264,260	39,340	174,410	139,280	146,250	1,637,970
	チラシ	595,250	192,840	27,380	119,960	92,180	98,740	1,126,350
	雑誌	701,905	198,950	32,570	143,980	110,120	106,530	1,294,055
	雑がみ	315,370	82,010	13,710	57,730	43,760	42,290	554,870
	段ボール	469,150	123,520	24,070	93,160	65,350	73,940	849,190
	紙パック	19,836	5,955	820	4,070	2,720	2,490	35,891
	紙類計	2,975,941	867,535	137,890	593,310	453,410	470,240	5,498,326
古着類 (kg)	177,330	57,290	9,600	37,240	35,520	31,050	348,030	
カン・フライパン類 (kg)	アルミ	9,907	2,875	540	1,349	1,830	5,860	22,361
	金属屑	46,368	16,725	4,300	14,991	8,960	10,370	101,714
生き ビン類	数量(本)	11,439	3,280	539	2,930	2,498	2,258	22,944
	重量(kg)	10,547	2,919	494	2,487	2,263	2,212	20,922
雑ビン類 (kg)	40,939	11,311	2,556	9,089	6,427	7,188	77,510	
合計 (kg)	3,261,032	958,655	155,380	658,466	508,410	526,920	6,068,863	

## ■回収量の推移

単位 ( t )

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
紙類	8,757	7,477	6,547	6,049	5,498
古着類	695	494	419	385	348
カン・フライパン類	144	136	128	126	124
生きビン類	27	24	24	23	21
雑ビン類	107	97	89	83	78
合計	9,730	8,228	7,207	6,666	6,069

## ■令和元年度自治会連合会別回収実績

校区	人口 (R2. 4. 1現在)	実施回数 (回)	総回収量 (kg)	一回あたりの 平均回収量 (kg)	1人あたりの 平均回収量 (kg)
金華	4,608	12	161,100	13,425	35.0
京町	3,891	13	169,530	13,041	43.6
明德	3,124	12	93,660	7,805	30.0
徹明	4,409	12	124,320	10,360	28.2
白山	5,683	24	81,210	3,384	14.3
梅林	6,474	24	174,320	7,263	26.9
本郷	6,558	24	141,935	5,914	21.6
華陽	7,550	16	216,325	13,520	28.7
木之本	5,959	12	91,842	7,654	15.4
本荘	11,456	24	177,690	7,404	15.5
日野	7,780	24	110,470	4,603	14.2
長良	6,802	12	71,760	5,980	10.5
長良西	13,157	26	211,060	8,118	16.0
長良東	10,849	12	160,280	13,357	14.8
島	12,852	24	181,475	7,561	14.1
早田	9,465	24	105,241	4,385	11.1
城西	8,327	24	147,632	6,151	17.7
三里	14,470	24	150,110	6,255	10.4
鷺山	10,117	14	154,340	11,024	15.3
加納東	7,116	24	171,920	7,163	24.2
加納西	7,871	24	239,528	9,980	30.4
則武	9,290	12	120,810	10,068	13.0
常磐	6,506	12	60,910	5,076	9.4
長森南	14,332	24	151,110	6,296	10.5
長森北	6,526	24	90,105	3,754	13.8
長森西	8,746	12	112,220	9,352	12.8
長森東	7,662	24	139,195	5,800	18.2
木田	3,064	24	63,610	2,650	20.8
岩野田	7,279	13	113,980	8,768	15.7
岩野田北	8,151	25	117,520	4,701	14.4
黒野	11,860	23	134,715	5,857	11.4
方県	2,475	12	55,050	4,588	22.2
茜部	14,005	24	100,070	4,170	7.1
鶉	12,707	11	57,450	5,223	4.5
西郷	8,854	24	63,417	2,642	7.2
七郷	11,253	24	134,285	5,595	11.9
市橋	15,046	12	87,015	7,251	5.8
岩	4,759	21	88,190	4,200	18.5
鏡島	12,702	13	176,950	13,612	13.9
厚見	13,814	22	159,030	7,229	11.5
日置江	4,600	24	77,605	3,234	16.9
芥見	7,589	26	139,440	5,363	18.4
芥見東	5,680	25	125,420	5,017	22.1
芥見南	2,998	23	57,770	2,512	19.3
藍川	6,096	24	122,400	5,100	20.1
合渡	6,342	24	63,418	2,642	10.0
三輪南	9,365	13	152,540	11,734	16.3
三輪北	2,533	7	54,350	7,764	21.5
網代	1,955	5	37,760	7,552	19.3
柳津町	13,402	24	76,780	3,199	5.7
合計	408,109	956	6,068,863	6,348	14.9

## (4) 生ごみの減量

## ①生ごみ有機肥料化促進補助(ボカシ)

「ボカシ」とは米ぬか、もみ殻、魚粉、糖蜜等に有効微生物群を混和して乾燥した資材で、生ごみを発酵させ、堆肥化します。

生ごみ有機肥料化促進補助制度は、「ボカシ」を使用する者で構成する登録団体に対して、ボカシ100gにつき20円、ボカシ処理容器1個につき購入価格の2分の1の額(ただし、900円を限度)の補助金を交付します。☆令和元年度は登録団体が購入したボカシ779,500g、処理容器3個に対し158,100円の補助金を交付しました。

ボカシの利用による減量効果としては、130世帯が利用し約18t(1世帯あたりの生ごみ排出量を140kg/年として計算)の生ごみが減量されたものと推定されます。

## ボカシ等補助実績

年 度 (補助金額)	ボカシ購入実績 (g)	ボカシ処理容器 (個)	補助金額 (円)
平成21年度	4,223,000	112	905,089
平成22年度	3,389,000	78	718,637
平成23年度	2,961,500	96	636,630
平成24年度	2,978,000	62	626,100
平成25年度	2,636,500	52	551,800
平成26年度	2,092,500	27	431,300
平成27年度	1,778,500	12	364,500
平成28年度	1,428,500	22	303,600
平成29年度	1,141,500	30	243,300
平成30年度	823,500	16	175,500
令和元年度	779,500	3	158,100

## ②電気式家庭用生ごみ処理機購入補助

「電気式家庭用生ごみ処理機」には生ごみを温風乾燥させ減容する温風乾燥方式と、微生物や培養機材を用いて生ごみを分解する分解方式があります。

補助制度は、処理機を自ら購入する市民で、適切かつ安全に使用及び管理ができ、処理物を環境衛生上支障がないように自家処理できる人に対し、購入金額の2分の1(ただし、20,000円を限度)を補助する制度です。

なお、この補助制度は、補助台数が減少傾向にあるなど、一定の周知は図られたと推定されるため、平成18年度をもって終了しました。

また、補助金受給者の利用実態を調査したところ(平成22年度)、約4割の方が処理機を継続して利用していることがわかりました。このことから、電気式家庭用生ごみ処理機による減量効果として、約1,800世帯が利用し、約252t(1世帯あたりの生ごみ排出量を140kg/年として計算)の生ごみが減量されていると推定されます。

## 生ごみ処理機購入補助実績

年 度	補助台数 (基)	補助金額 (円)
平成10年度	411	11,276,580
平成11年度	802	21,172,840
平成12年度	1,369	27,268,680
平成13年度	641	12,718,870
平成14年度	301	5,915,810
平成15年度	244	4,799,080
平成16年度	210	4,151,600
平成17年度	202	3,977,480
平成18年度	284	5,581,830
合 計	4,464	96,862,770

## ③ダンボールコンポスト講座

ダンボールコンポストは、ダンボールの中に入れた基材で生ごみを分解して堆肥化するもので「臭いが比較的少ない」、「出来る堆肥の量が少なく利用先に困らない」ことが特徴です。こ

れまで、家庭での生ごみの資源化が難しいとされている集合住宅などでも手軽に実施できるため、市民団体と協力して講座を開催し積極的に啓発しています。

☆令和元年度は導入講座を48回開催し、462名の方が参加しました。

#### ④生ごみ堆肥化推進事業の経緯

家庭内での自己処理に加え、地域での生ごみリサイクルシステムとして新たな生ごみ堆肥化システムの構築を目指し、平成11年度から「生ごみ堆肥化調査モデル事業」に着手しました。モデル地区として加納西、京町、藍川、常磐、三輪南の5地区を選び、試験的に生ごみの収集から堆肥化を行なうもので、ボカシ・密閉容器・専用袋を使って、各家庭で一次処理(発酵)した1週

間の生ごみを集積場所の大型回収容器へ出してもらい、それを市が委託したNPO法人「環境浄化を進める会岐阜」が収集し、機械処理で堆肥を製造しました。

その後新たにモデル地区を追加し、既存の地区での拡大を図るとともに、生ごみを分別排出しやすい方法や、堆肥の商品価値等の調査研究の精度を更に向上させるための検証、システム構築のための項目を更に詳細検討等を行なってきました。平成14年度には、モデル事業を「生ごみ堆肥化推進事業」と名称変更して継続するとともに、堆肥化施設を掛洞プラントに移し、ごみの分別・減量を啓発しています。

☆令和元年度は、7地区1団体1,208世帯の参加により、約82tの生ごみを堆肥化しました。

#### ■生ごみ堆肥化推進事業実績

地区名	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)
三輪南(計)	369	26,100	364	24,220	354	21,535	342	19,470	340	18,560	328	17,635
太郎丸団地	50	3,100	50	3,045	50	2,815	51	2,765	51	2,610	51	2,360
福富団地	151	10,740	146	10,340	140	8,995	129	7,895	127	7,170	122	7,145
福丸団地	168	12,260	168	10,835	164	9,725	162	8,810	162	8,780	155	8,130
加納西	220	18,100	220	16,620	217	17,020	204	16,880	193	15,995	189	14,430
藍川	131	10,480	127	10,250	127	9,760	125	9,480	125	9,220	123	8,390
京町	257	21,950	255	21,030	249	18,400	239	17,830	230	16,960	218	15,520
常磐	152	9,120	146	9,915	140	9,580	141	8,945	141	9,100	141	8,725
芥見東	127	11,580	127	11,140	118	10,370	115	10,220	114	9,700	113	9,160
長良西	78	6,755	77	6,400	75	6,700	82	7,300	82	7,310	81	6,785
ふじの木(団体)	15	1,555	15	1,515	15	1,465	15	1,385	15	1,375	15	1,245
合計	1,349	105,640	1,331	101,090	1,295	94,830	1,263	91,510	1,240	88,220	1,208	81,890

**(5) 事業系ごみの減量****～事業者による取り組み～****①事業系一般廃棄物減量対策**

年間ごみ処理総量の約30%を占める事業系ごみ減量のため、市内事業所に対し計画的なごみ減量と資源化の推進を指導啓発しています。

「事業用建築物における一般廃棄物の減量及び適正処理に関する指導要綱」を制定(平成11年7月)し、大規模事業所を対象とした「廃棄物管理責任者の手引き」を作成、「廃棄物管理責任者」の選任と「一般廃棄物減量計画書」の提出を義務付け、要綱に基づいた減量指導を行なっています。令和元年度における「一般廃棄物減量計画書」の提出事業所数は189件で、令和元年度資源化率(実績)は47.5%でした。また、令和元年度は44件の事業所に立入調査をしました。

平成25年度より占用面積500㎡を超える事務所・小売店も対象に加え、令和元年度は229件の事業所に「一般廃棄物減量計画書」の提出を求めました。また、令和元年度は83件の事業所に立入調査をしました。

**②エコ・アクションパートナー協定店事業**

平成4年度から、ごみ減量・リサイクルに自ら積極的に取り組む市内の小売店を「G・Rマークの店」として登録し、消費者に愛される環境にやさしい店づくりを広めていくことにより、市民あげてのごみ減量運動の展開追加を図ってきました。

平成9年度からは、モデル事業として「岐阜市トレイ回収協力店」、平成14年度には、「岐阜市リサイクル商品取扱推進店」を募集し、これらを合わせて「G・Rマークの店」として認定

する制度に見直しました。この制度は、その後の「個別リサイクル法」の制定・施行や、リサイクル商品の一般化により平成20年度から「岐阜市トレイ回収協力店」のみに整理されました。

一方、平成19年度には、容器包装廃棄物等の減量や資源化等環境負荷の少ない活動を進める事業所を「エコ・アクションパートナー協定店」として市と協定を結ぶ制度を設けました。平成20年8月5日には、「岐阜市レジ袋削減(有料化)の取組みに関する協定」を23業者、市民団体の参加による推進会議及び岐阜市の3者間で締結し、9月1日から多くの市内小売店でレジ袋の無料配布が中止されました。また、平成24年度から「岐阜市トレイ回収協力店」の活動をこの制度に組み込みました。

**③トレイ回収協力店事業**

容器包装リサイクル法の対象品目である発泡スチロール製トレイについては、平成12年度から市内の食品系スーパーマーケット等に対し、自主回収を協力依頼しています。

令和元年度の協力店(49店)の報告回収量は、約53tでした。

**④はがきのリサイクルグリーンボックス事業**

平成10年度から、郵便局と市が共同ではがき専用の回収ボックスを設置しました。回収したはがきは製紙工場で溶解処分し、再生トイレットペーパーの原料としています。

設置場所：市内各郵便局

市役所本庁舎・南庁舎  
各事務所・柳津地域事務所  
市ステーションプラザ<sup>®</sup>(JR岐阜駅構内)  
ハートフルスクエアG

## 柳津資源ステーション

令和元年度実績：1, 530.0kg  
510,000枚

## ⑤使用済みインクカートリッジ事業

インクカートリッジメーカー等が行うインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして、専用回収ボックスを設置し、使用済みインクカートリッジを回収しています。

回収されたインクカートリッジはメーカーにおいてリサイクルされます。

## (6) リサイクル推進事業

## ①リサイクル学習バス(ビック・アクション号)

地域が主体となってごみ減量・リサイクルの推進を図るため、ごみ処理施設などの見学会に、平成8年度から各自治会連合会にバス1台の借上料を支援し、令和元年度は7団体で実施し、206人が参加しました。

## ②ごみ減量・リサイクル講座

職員が、ごみ減量と資源化の状況や手法などについてのお話をします。ごみに関する理解を深めていただき、さらに積極的な取り組みをお願いしています。

☆令和元年度は、83回実施しました。

## ③小学生社会科副読本

小学4年生の社会科学習資料として、ごみ処理の内容をわかりやすく説明した副読本「ごみとわたしたち」(第36版、A4版、カラー刷、33ページ、4,000部)及び「教師用指導資料」(A4版、38ページ、A3版、2ページ、350部)を作成し、「ごみとわたしたち」は市内の小学4年生全員に配布しました。

## ④ごみ1/3減量大作戦子どもポスターコンクール

小・中学生から、ごみ減量・資源リサイクルをテーマにポスターを募集し、審査の結果入賞作品42点を「岐阜市エコフェスタ」で展示したほか、市庁舎1階市民ホールでも展示を行いました。

また、優秀作品をもとに啓発ポスターを作成し、市内小・中学校等公共施設に掲示しました。

## ⑤ごみ1/3減量活動支援

地域が主体となって取り組むごみ減量・資源リサイクル活動に対し、啓発用物品を貸与するなどの支援をしました。

## ⑥岐阜市エコフェスタの開催

「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」の創造に向け、全ての市民が「ぎふの環境」への思いを新たにし、一人ひとりが、人と自然が共生するまちづくりへの行動を始める契機とするため、市民参加型の環境啓発イベント「第1回岐阜市エコフェスタ」を開催しました。

開催日：令和元年11月9日・10日・12月1日・8日

場所：みんなの森ぎふメディアコスモス、JR岐阜駅南口駅前広場、ハートフルスクエアG  
来場及び参加人数：約6,580人